

科目区分	専門教育科目	科目名	生活支援技術E		科目コード	17F480	担当者	野口 豊、富永 君代			
対象学生	介護福祉士コース2年生	学期区分	後期	単位数	1	卒業要件	必修				
						免許・資格要件	介護福祉士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
1. 聴覚障害の特性と聴覚障害者の生活上の困難と制約を理解し、支援の方法について学習することができる。 2. 盲ろう者の特性、生活祖支援する方法及び留意点を理解する事が出来る（移動・コミュニケーションの支援）						1. 「 <u>尽心</u> 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 <u>創造</u> 」 高度な知性と創造力	3. 「 <u>実践</u> 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表思考・創判造断力	⑤ 実主体力性・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	聴覚障害の特性と聴覚障害者の生活上の困難と制約を理解し、支援の方法について学習することができる										
2.	盲ろう者の特性、生活を支援する方法及び留意点を理解することができる（移動・コミュニケーションの支援）										
3.	視覚障がい者の特性と視覚障がいの者の生活上の困難と制約を理解する。										
4.	視覚障がい者の日常生活及び社会参加を支援する方法とその留意点を理解する。					○	○	◎	◎	○	◎
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						試験（80%） レポート（10%） 受講態度（10%）					
テキストを中心に、プリント配布、DVDを使った講義形式、グループ学習、疑似体験等の演習方式で展開する											
準備学修						課題等への対応					
（富永）事前に必ず、テキストを予習する。（30分）また、実習の現場で高齢者の特徴がつかめるよう、学習した事は配布プリントやノートにきちんとまとめていくこと。 （野口）通学、買い物、外出時において社会資源の中や、人の流れの中で障害者に関係の深いものについて気づいた点や配慮が必要だと思った点をこまめにノートにまとめて下さい。（予習復習で30分程度）						視覚障害者の生活支援において、支援を必要とする人の立場を理解するために必要な社会資源や施設を知るとともに、その役割を理解し、支援を必要とする人に適切に情報を伝達することができるように学習を進める。					
授業計画											
第1回	聴覚障害者の介護 ①聴覚障害者の理解。生活支援技術を学ぶ。										
第2回	聴覚障害者の介護 ②コミュニケーション方法・演習										
第3回	聴覚障害者の介護 ③福祉制度など										
第4回	重複障害（盲ろう）者の介護 ①盲ろう者の特性と生活支援・移動介助										
第5回	視覚障害（盲ろう）者の介護 ②盲ろう者の特別講義とコミュニケーション演習										
第6回	視覚障害者福祉制度の理解と点字器の使い方点字の書き方										
第7回	資格障害者の移動に関する支援制度の理解と点字の書き方（50音～濁点・半濁点）										
第8回	視覚障害者の外出を支援する事業「同行援護事業の基礎知識と点字学習数字の書き方」										
第9回	視覚障害に関係する疾病の理解、先天障害者と中途障害者の心理										
第10回	視覚障害者への情報支援と代筆・代読、点かなづかい～字表記法										
第11回	演習 資格障害者のガイドの基本姿勢から段差・会談の解除法、食事介助の基本										
第12回	視覚障害者の日常生活用具・便利グッズと交通機関の利用と割引制度										
第13回	点字文章の読み書き										
第14回	場面別解除法（家庭内から外出先） 各種窓口、研修会、トイレ等、リスクマネジメント										
第15回	点字の読み書き、情報支援機器の紹介、まとめ										
教科書・参考書						受講生へのメッセージ					
（富永）生活支援技術Ⅲ 8巻 中央法規出版 （野口）同行援護従業者養成研修テキスト 中央法規出版						（富永）聴覚障害者の理解・支援だけでなく、重複障害（盲ろう）者の介護、疑似体験を通して学びます。 （野口）私は視覚障害者当事者です。自分の体験も交えてわかりやすい授業になるよう努めますので、宜しく願いいたします。					